

令和7年度 福井市公民館連絡協議会 活動方針

基 本 方 針

本会は公民館活動の基本理念「つどい・まなび・むすぶ」を踏まえ、公民館相互の連携と職員の資質向上を図ること、また会員の親睦を深めることを通して、福井市の社会教育の進展に寄与する。基本方針として、1 福井市生涯学習課の事業実施方針に基づき、市民の生涯学習を支援し、「みんなが輝く全国に誇れるふくい（第8次福井市総合計画）」の実現に向けて、ひとづくり・まちづくりを進めていくこと。2 持続可能な地域コミュニティづくりのために、コーディネーターやファシリテーターの役割を果たすこと。3 地域課題や住民のニーズに対応できる教育事業の充実を図ること。を掲げる。各館や市公連の培ってきた力を結集して、生涯学習の環境づくりをめざす。

具 体 的 方 針

- 1 生涯学習事業の実施と地域活動への支援の強化
 - (1) 不死鳥のねがい（福井市市民憲章）の主旨に基づく学習や実践活動を行う。
 - (2) 各地区の実情に合わせ、地域の人が進んで参加できる教育事業を行う。
 - (3) 地区の歴史・伝統文化の継承や発信を行い、また記録する。
 - (4) 地域コミュニティの活動を支え、防災・高齢者支援など、持続可能な地域づくりに貢献する。
 - (5) 学校や家庭、地域の団体などとの連携を進める。
- 2 公民館職員の資質の向上と館相互の連絡・協調の推進
 - (1) 公民館職員の専門性を高めるため、研修会や大会等に進んで参加する。
 - (2) 各館やブロック内での研修を充実させ、資質の向上に努める。
 - (3) 各館が取り組む事業を学び合うため、情報の交換・共有化に努める。
 - (4) 地域の住民が気軽に足を運んでもらえる公民館づくりに努める。
- 3 市公連としての取り組み
 - (1) SDGsの17項目から、各公民館で取り組む実践課題を選び、年間を通して実践する。
 - (2) 中学生（含む小学生）の土・日曜日の過ごし方について、公民館としてできることは進んで協力する。
 - (3) 公民館運営の充実のため、行政との協議を図り、施設・設備の充実や財源の確保を要望する。
 - (4) 職員の勤務条件や福利厚生について、改善されるよう要望する。
 - (5) 信頼される公民館職員をめざすと共に、市公連組織の強化に努める。

＊コーディネーター・・・物事を調整する役

＊ファシリテーター・・・目標達成のために計画立案を支援する役